

八学大非常勤講師に湯田氏

日本スケート連盟「国際舞台で活躍する選手を」
強化本部会副本部長

熊谷雄一市長（左）に意欲を語る湯田淳さん



八戸学院大は、日本スケート連盟強化本部会副本部長の湯田淳さん（50）に日本女子体育大教授Ⅱを非常勤講師に任用した。湯田さんは自身の知見を生かし、「氷都八戸」のさらなる発展に向けて尽力する姿勢だ。

湯田さんは秋田市生まれ。2014年に同連盟スピードスケート強化部長に就任。監督として臨んだ冬季五輪では18年平昌大会、22年北京大会で数々のメダルを獲得した。大学側から要望があり、今年4月1日付で任用。大

学で年2回講義を行うほか、八戸市内で指導者を対象とした研修会を開く予定だ。

21日、湯田さんと八学大の水野眞佐夫学長らが市庁を訪れ、熊谷雄一市長に報告。湯田さんは技術力向上と競技人口増加などを目標に掲げ、「地域の現状を目で見ながら青森県スケート連盟や中央（日本連盟）と連携し、国際舞台で活躍する選手を育てたい」と意欲を語った。（磯野雄太郎）